

1 自己評価及び外部評価結果

31.1.22

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1175700168	
法人名	株式会社ウイズネット	
事業所名	グループホームみんなの家・蓮田東	
所在地	埼玉県蓮田市東2-1-19	
自己評価作成日	平成30年9月8日	評価結果市町村受理日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員さんが配置されたら、まずは定着してもらうために、一人一人が初心に戻り丁寧に教える努力をしています。
ホーム長としては、シフト内での希望休確保や長期休暇も安心してとれるような配慮など、オンとオフの切り替えを大切にして、業務に集中してもらえる環境を作ることだと考えています。個々の職員の自発的な発想や行動も尊重し、時にアドバイスをするなどサポートをしています。職員に一人一人に感謝を伝え、成長してもらいたいと考えています。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社ケアシステムズ	
所在地	〒102-02076 東京都千代田区五番町12-7 ドミール五番町2号棟34号室	
訪問調査日	平成30年10月20日	

管理者は当事業所に2001年より就業しており、継続性のある安定した運営が行えていることから、施設内は落ち着いた穏やかな雰囲気を感じられる。管理者は職員に感謝の気持ちをもって接し、職員もそれに応えるように支援や業務を行っている。施設玄関には季節を感じる飾りつけがされ施設内も清潔に保たれ、利用者が制作した貼り絵も掲示されている。和紙や色紙を使って作成した作品は、ブドウとコスモス、クリスマスリース、ホテルや富士、季節の題材としてはハロウィン等、素晴らしい出来栄となっている。また、各ユニットでは工夫を凝らしたレクリエーションも実施されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
57	利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度 <input type="radio"/> 3. たまに <input type="radio"/> 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている <input type="radio"/> 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ご利用者様優先の生活を提供しています。個々のケアを大切にして個人の意思を尊重して対応しています。	利用者個々の生活を大事に考え理念を念頭に置きながら日々の支援に努めている。他者との交流も大事なことと捉え、行事等を行ったり、外出の機会を作ったりしている。下肢筋力の維持や排泄コントロールにも力を入れて	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年度は運営推進会議の案内も確実に届く様に担当者にお渡しをしています。近隣の居宅、医療機関との連携を取り出来るだけ入居出来る様にしています。	地域行事があまり多くない地域でもあるので、日常での散歩での挨拶や会話を大事にし、事業所への質問があれば事業所のリーフレットを届けたりしている。また、認知症の会に参加して情報交換をしている。	地域交流のために日々の努力を続け、現状より少しでも多く、また、深く連携を図れるような工夫に期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	見学時に入居に繋がらない内容でも出来る限り相談に応じ対応しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	季節的な内容を出来る限り実践的に説明をしています。高齢者が日々どのような物を召し上がっているか？エンシュアなどを試食して頂きました。	運営推進会議では、利用者の現状や事業所の活動報告を行い、参加者より意見をもらうようにしている。脱水やインフルエンザのことなど季節に合わせた情報も伝えるようにしている。また、経腸栄養剤等の試食も行っている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村からの案内でアンケートなどは速やかに返信をする。研修などにも参加をする。保険書関係などでわからない事は伺い確認をしています。	管理者が市役所の窓口に出掛け、入居状況を伝える等して、顔の見える関係づくりをしている。このような取り組みから、市から見学者の依頼などをもらうようになるなど関係づくりにつながっている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会で ベットの柵の適性数を各階で確認をしました。職員側のケアの心配事なども話し合い、身体拘束廃止に向けて取り組んでいます。	身体拘束廃止委員会を毎月実施して、ベッドの配置や柵の位置、言葉使いなどが適切か確認をしている。必要があれば実際に居室に行き、ベッドや柵の確認を行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	言葉の暴力 言葉の威嚇 職員の態度 言葉使いなど細かく対応して細かく確認をしています。定期的に馴れ合いにならない様にユニットの変更をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	実調査などで、後見人などの言葉が出た時は職員がわかりやすい様に入居前に貼り出し業務に困らない様に対応しています。外部の研修に出来る限り参加を促しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時は出来る限り時間を頂き、初めにトラブルが無い様に話をします。契約に関することは、その都度話をしてご理解をいただいています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご要望がある時は、職員全員に伝わるように話をします。禁止用語、NGな対応も含め出来る限り情報を共有しています。	利用者からの要望は日常生活の中で聴くようにし、家族からの要望は面会時等に聴くようにしている。要望は朝礼や会議で共有し、運営に反映できるように努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各階ユニットリーダーに任せていますホーム長が対応する事もあります。ユニットの件は出来る限りユニットで解決する。不足の時は各階で協力する様にしています。	管理者は様々な場面で職員に話しかけ、意見を聴くようにしている。各ユニットのことはユニットリーダーが中心となって運営を行っているが、管理者にも情報が共有されるようになっている。毎月職員会議も実施され意見を共有している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得が出来る様に積極的にアドバイスをしてシフトの調整をします。目標に到達出来る様に出来る限り対応しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	出来る事、お願いする事、出来た事、任せられる事などを管理者が把握して主任や、管理者を育成出来る様に業務外の仕事もお願いする事もあります。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	各階協力できる様にシフト調整を行いどのユニットでも対応出来る様に時々ユニット変更をする。積極的ではない職員は反対に固定して確実に業務を出来る様に促しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初めてのご利用者様には積極的にお話をして職員から馴染みの関係を築けるように配慮をしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ホーム長より積極的に連絡をして出来る限りご家族様との関係を築く努力をしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	実調時に細かくニーズを確認して入居時にお互い困らない様に対応しています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る限り今までの生活と近い環境で生活出来る様に対応しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	馴染みの友人などが遊びに来たときは居室内でゆっくり過ごせるように対応しています。 ご家族様も同様出来る限り気兼ねが無く生活出来る様に声掛け対応しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様の確認を取り、ご家族様から知人の許可を頂いた方のみホームで対応しています。	面会や外出などはいつでも可能としており、事前に家族より情報がもらえていれば、友人や知人の面会なども受け入れている。個別の外出は家族に協力お願いしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	10時からのお茶や、15時のおやつ食事の時間をゆっくり過ごし頂く様に対応しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	お電話でお話しをする方もいます。その後の事やご家族様の近況報告なども連絡をして下さいます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	カンファレンスを細かく行い出来る限り沢山の情報を共有しています。	利用者の意向を確認し、本人が大事にしてきたことが継続できるように職員間で情報を共有している。独居だった方とそうでない方との日中の時間の過ごし方などにも配慮をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	排泄や、家庭の内の様子 居室内の位置など細かく対応しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	出来ることは見守りで行う。やりたい事は出来る限り否定せず見守る。最後まで出来ないときは職員が助ける事もあります。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニット事の取り組み 8月よりサービス内の目標をホーム長が作り各階に提案しています。毎月「お楽しみ会」と言う日を決めて出来る限り職員がユニットの協力を頂き達成する。	家族の意向は管理者が聴くようにしている。介護計画の課題はシンプルにするようにしている。利用者の家族性を引き出せるよう意識して支援し、モニタリングを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録に変更があり各階の共通番号を設けました。生活記録に反映をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	変化があった時はプランの変更をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の生活の中でご入居が増えています。ご利用者様の自宅も近く頻りに散歩をしながら帰宅出来るが増えました。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	地域のドクターにお願いをしているケース 会社指定のドクターと契約をしているケースと別れています。会社指定のドクターもクリニックで外来に出ている日があります。そちらに通院をお願いする事も増えました。	かかりつけ医の受診は4名で他は内科及び精神科の訪問診療医を受診している。それぞれの医師は月1回訪問し血圧・体温・食事量・水分摂取量を確認。その上で特変が無い職員より聞き取りを実施し、各利用者の個別記録に記録している	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携看護師の訪問日に対応出来る様にきちんと記録に残し出来る限り質問が出来る体制を取っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	退院の指示が出ればすぐに受け入れる環境を変えず出来る限りホームへ戻れるように対応しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ドクターご家族様とお話し合いをして頂き出来る限りギリギリまでホームで生活出来る様に対応しています。ご要望があれば個々に対応している案件もあります。	歩けなくなり、車椅子対応も苦しくなった場合や家族が通院を希望しない場合は、医師に情報を伝える。医師が看取りの対象と認めると、家族に医師が状況を説明し、家族の意向に従って看取りを実施する流れとなっており、看取りに対応した実績が2名ある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	夜間対応にならない様に昼間の間にご家族様と連絡を取り動いています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練 夜間想定訓練 自然災害の訓練を取り入れています。	年2回、消防署隊員の協力を得て、利用者10名、日勤者・夜勤明職員6名が、駐車場で消火器訓練を実施している。また、地震訓練としてEVを使わず、歩ける人は階下迄誘導し、その他の人はテーブルの下に移動する等の訓練も実施している	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	汚物内の処理は新聞紙に包み対応します。共同トイレ内に排泄用品を準備して対応しています。	当施設は個別のトイレではない為、排泄介助時は、プライバシーを意識している。一部介助の人にはトイレに設置されたカーテンを閉めて音や臭いが漏れないように配慮し、全介助の人にはドアを閉め切って対応。介助後に窓を開けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	おやつなど選べるように声をかけています。洗濯と掃除どちらが良いなどと聞く事もあります。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体調、顔色、様子など細かく対応して早めにドクターなどに連絡をする。早めに受診が出来る様に対応する。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月1回美容師さんが訪問してカラーやパーマが出来る様に対応しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前には排泄を済ませる、お茶お飲み食事を待つなど嚥下の状況も確認をしながら食事の準備をしています。	ランチョンマットを敷いたり回収をする利用者やコップを洗いを手伝う利用者が見られる。また、毎月のお楽しみ会ではプレートでホットケーキを焼き、絞った生クリームを塗ったり缶詰フルーツを乗せ皆でおやつ作りを楽しんでいます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	主食の量や、さりげなく茶碗の大きさを変えるなど個々の対応を日々しながら体重管理をしている食事の形状は常に変更出来る様に対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアは必ず行う習慣化している毎週3回「月 水 金」は入れ歯洗浄日に行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のリズムに合わせて個々の対応をしています。失禁無い様に対応しています。	入院があると、自立の人でもおむつ対応になるなど変化がみられる場合が多いが、職員は、に戻そうと、就寝前・起床時・おやつ・食事前後に「運動しましょう」と声掛けし、歩いた後でトイレに誘導するなど排泄の自立にむけて支援している	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	下剤に頼らない様に「ヤクルト」など購入をしています。水分を沢山飲む様に日中から促しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴が苦手な方は職員を変更して対応しています。なるべく皆さんが週2回から3回入浴出来る様に調整をしています。	入浴拒否の人には「歩きましょう」「明日、外出だから..」「髭を剃りましょう」等と声掛けして、浴槽に入った時は一人で過ごせるように配慮し、全介助の人には世間話をしたり歌をうたってリラックスしてもらえるように配慮している	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室内の温度、居室内の清潔 寝具の汚れなどに注意して対応しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別往診 月2回の訪問診療は、職員さんが誰でも対応出来る様にしています。ドクターからの話は各階で確実に申し送りをする。薬剤師さんの飲み方の話も必ず伝達をして漏れが無い様に対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	木曜日の午後レク活動も数年続いていきます。8月より月1回お楽しみ会を各階で企画して頂くシフトに行事として載せて当日担当者に企画をお願いしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出時に便が当たらない様に対応しています。ご家族様との時間は出来る限りホーム行事よりも優先して頂いています。	公園の近くに花壇があり、パンジーやチューリップ、菜の花等の季節の花が咲いている。春と秋、職員2-3名が歩ける方全員を何回かに分けて(10名程度)出かけている。	1人ひとりの希望に沿って短い時間でも外出するなど外気に触れ気分転換できる機会を設けることが望まれる。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理は自己管理でお願いをしています。現在自己管理が出来るのは2名のみです。その他の方は事務所金庫内で立替金として本社より頂き個人で購入した物は後日利用料と一緒に請求される事になりました。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙は送られた物は本人に渡します。携帯電話は自己管理です。ご家族様が準備をして持たせている方もいます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様の作品を展示しています。1階玄関は季節の物を飾り出来る限り汚いイメージが無い様に努力をしています	清掃業者は週2回、共用スペース及び各居室の清掃を実施。各トイレは夜勤者が毎日掃除している。各階共に整理整頓され、居心地が良い。また、玄関や掲示板には季節の飾り付けがしてあり楽しく温かい。訪問時はハロウィンの飾り付けが玄関とEV入り口にしてあった。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロア内にソファを設置一人で過ごす事も出来る様に対応しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様にお願いをしてご入居時は使い慣れた食器 湯呑を準備して頂いています。居室内の空間でも写真などを飾って頂き、自宅で生活出来る様に対応しています。	布団とカーテンは防災上の配慮から、持ち込みは出来ないが、食器と湯飲みは自分のものを持参している。また、仏壇を持って来ている人やアルバムを持って来ている人など、居室では思い思いに過ごせるように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	衛生面で問題のない事は出来る限り見守り対応しています。一緒にやりながらコミュニケーションを築く事もあります。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域行事があまり多くない 地域の行事には出来る限り参加をしている 近隣の散歩などで近隣の方が居る時は積極的に挨拶などを行う 急な見学など出来る限り対応をして地域との関わりを持つ努力はしている	出来る限り地域との関わりに深い施設運営を行い。認知症を知って頂く活動を通しグループホームへの関心を持って貰える活動を積極的にいえる様にして行きたい。	地域担当の営業の方と協力して定期的に外回りを行うGHでの生活全般をアピール出来る様にホーム内での活動を写真などを載せて作成をする。 近隣の居宅や 病院 施設などを回り困ってる方のお助けが出来る様な活動をして行きたいです。	6ヶ月
2	49	ご利用者様の気分転換 お散歩などの時間が思うように確保出来ない。	フロア長 計画作成者 職員と相談をして一人一人の体力に合わせてのプログラムを計画して行きたい 買い物や 散歩 外食 社会との繋がりを持てる生活を支援して行きたいです。	各階で先にどんな支援が望ましいか？検討して頂く。フロア長会議などで具体的に出来る事を検討する。行事の中で1か月に一度位のペースで 外出支援が出来る様に計画をしてホーム内生活が充実出来る様に対応して行きたいです。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。